

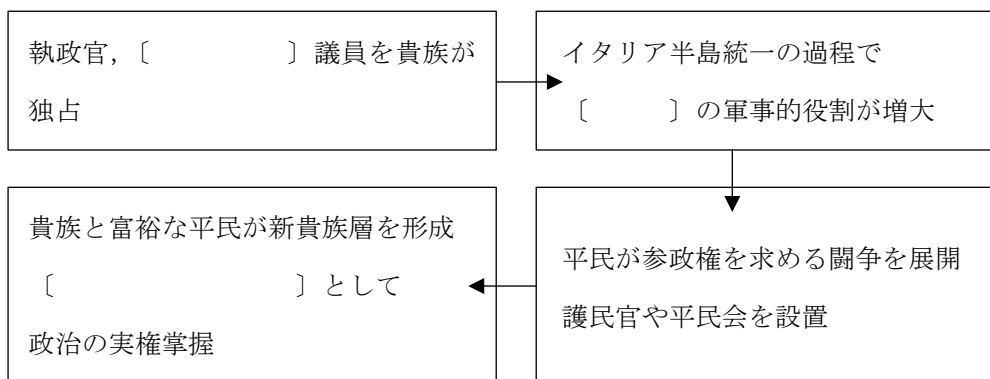
第1部 文明と地域世界の形成

1 西アジア世界・地中海世界の形成

3 ローマ帝国と地中海世界① (教科書 P. 30~33)

① ローマ建国と共和政 [p. 30]

- ・イタリア半島に南下した [] が都市国家ローマを建国
- ・前6世紀末 先住民の王を追放→ [] 開始



② 地中海世界の征服 [p. 30]

- ・前3世紀前半 イタリア半島を統一
→地中海の商業権をにぎるフェニキア人の植民市 [] を [] でやぶる
- ・前1世紀後半 地中海沿岸の大部分を征服
- ・征服地に総督を派遣して [] として統治
→戦争捕虜が [] (大農場) で使役され, 属州の安価な穀物が流入
→中小農民の没落

③ 帝政のはじまり [p. 31]

- ・前2世紀後半 [] の改革
→自作農の復活をめざす
→失敗
- ・属州の反乱や [] の奴隸反乱
→ローマは混乱 (「内乱の1世紀」)

→混乱のなかで、政治が少数の有力政治家にゆだねられる

→2回の三頭政治

・第1回三頭政治

ガリア遠征で権勢を強めた〔 〕の独裁

→カエサルは共和派に暗殺される

・第2回三頭政治

〔 〕が〔 〕らとともにおこなう

→エジプト女王〔 〕と結んだアントニウスを

オクタヴィアヌスがやぶる

・前30年 地中海世界を統一

オクタヴィアヌスに、元老院は〔 〕(尊厳者)の称号を与える

→事実上の〔 〕の開始

④ 〔 〕 [p. 32]

・「〔 〕(パックス・ロマーナ)」

帝政開始から五賢帝の時代(約200年間)…ローマの最盛期

・商工業が発展し、道路(軍道)が整備される

→海・陸のルートからさまざまな物品が流入

ローマの制度・法律・風俗・文化を地中海世界に広まる

⑤ ローマ帝国の解体 [p. 32]

・「ローマの平和」のなかローマ社会が変化

戦争による奴隷の減少

→ラティフンディアがゆきづまり、〔 〕(小作人)による耕作に

・治安の悪化により商業活動が衰退

・軍人皇帝時代に入り、国内が混乱

帝国の維持が困難になる ←

・3世紀末 〔 〕が即位

帝国の四分統治、皇帝権の強化をはかる

・4世紀 〔 〕が即位

東方地域を重視し、〔 〕に都を移す

〔 〕を公認

- 395年 ローマ帝国が東西に分裂
 - 東ローマ帝国は1000年以上つづく
 - 西ローマ帝国は476年に滅亡